

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目 (該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分 (申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無 (該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん ちゅうぶふいるはーもにーこうきょうがくだん 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
制作団体所在地	〒 485-0041		
	愛知県小牧市小牧2-107 小牧市市民会館内		
電話番号	0568-43-4333	FAX番号	0568-43-4334
ふりがな 公演団体名	ちゅうぶふいるはーもにーこうきょうがくだん 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
公演団体所在地	〒 485-0041		
	愛知県小牧市小牧2-107 小牧市市民会館内		
制作団体 設立年月	2000年2月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:西村義明 理事長:加藤隆久 専務理事:大野英人 常任理事:赤堀裕之史 岩田徹 河井裕二 後藤孝文 副島孝 水野恵翠 常務理事:上村和久 布藤和志 他理事11名 事務局長:大野英人	芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 首席客演指揮者:飯森範親 楽団員:41名(公募オーディションにより選考) 主な客演コンサートマスター:山口裕之 コンサートマスター:藤原綾 古井麻美子 アシコン1名 トップ奏者12名 副トップ奏者4名	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	事務局長:大野英人 演奏事業部:乾光季
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	総務部長:布藤和志

制作団体沿革	中部フィルハーモニー交響楽団は2000年に小牧市交響楽団として発足し、2007年に中部フィルハーモニー交響楽団と改名後、愛知、岐阜、三重の各県で中部圏の音楽文化振興を図るため、個性的なプログラムにより各地で定期的な公演を行い、地域に愛されるプロ交響楽団として活動を行っている。現在の芸術監督・首席指揮者は日本を代表する指揮者の一人秋山和慶。秋山は、2015年には創立15周年記念で大編成のマーラー「復活」を指揮し成功に導いている。2017年度からは2年間4回にわたる「ブラームス・ツィクルス」をスタートし、誠実かつ熱のこもった演奏を行い好評を博した。その時のライブ演奏は「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」で世界に配信されている。また2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団第461回定期演奏会にてマーラー作曲「千人の交響曲」に出演し、名フィルとともに見事な演奏を聴かせた。2020年創立20周年を迎えた。2021年度からは定期演奏会をNAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ3回の計6回実施し、1人の作曲家にフォーカスしたプログラムが注目されている。 受賞歴としては、愛知県芸術文化選奨新人賞等を受賞。2017年12月に「多年にわたり地方自治の発展に尽力されその功績は誠に大である」として愛知県知事より感謝状を授与された。 2020年4月から首席客演指揮者に飯森範親を迎え、さらなる飛躍を目指す。本拠地は愛知県小牧市。			
学校等における公演実績	2009年度から2021年度まで文化庁の子供のための巡回公演を12年間12回受託させて頂きました。実績は以下の通りです。・2009年度Dブロック25公演・2010年度Aブロック18公演・2011年度Jブロック19公演・2012年度Aブロック20公演・2013年度Fブロック24公演・2014年度Bブロック20公演・2015年度Iブロック20公演・2016年度Gブロック15公演・2017年度Fブロック16公演・2018年度Cブロック15公演・2020年度Dブロック8公演・2021年度Eブロック10回(予定)以上。 本拠地・愛知県小牧市では小牧市内小学校8校、中学校3校での音楽鑑賞会を現在まで18年間毎年開催し、音楽により児童・生徒達の感性を育成してきました。 小牧市では、全幼稚園・保育園(32園)への訪問演奏から、小・中・高等学校での音楽指導を年間約20回行い、幼児から高校生までの地域の音楽力の底上げ、向上と情操教育を担ってきました。 また、愛知県内及び中部地方では長年数多くの学校公演で好評を得ています。			
特別支援学校における公演実績	文化庁「子供のための巡回公演」で以下の学校で公演いたしました。 ●2010年 ①岩手県立盛岡みたけ支援学校 ②北海道立白糠養護学校 ●2011年 鹿児島県立鹿児島豊学校 ●2017年 滋賀県立三雲養護学校 ●2021年 三重県立松阪あゆみ特別支援学校(予定) ※文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」で2021年10月5日に実施予定です。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/5VcJymruV5k https://www.youtube.com/watch?v=QyTa8hJKE8s (50:00-57:20)	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	「体感オーケストラ！体育館が劇場に変身！」					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	●J.ウィリアムズ：映画「スター・ウォーズ」より“メインタイトル”（7） ●『きらきら星変奏曲』による楽器紹介（12） ●モーツァルト：ディヴェルティメントK.138より第1楽章（5） ●チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”（5） <休憩10分> ●デュカス：バレエ音楽「ラ・ベリ」より“ファンファーレ”（5） ●マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”（5） ●【ボディ・パーカッション】映画「ミッション・インポッシブル」の音楽でボディパーカッション（10） ●【交響曲を聴いて見よう！】ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章（10） ●学校の歴史（伝説）を語り、そして「ゼルダの伝説」へ 児童・生徒が自らの作文により学校の歴史を語り ⇒ 近藤浩治：「ゼルダの伝説」メインテーマ（9） ●各学校校歌（5）					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	児童、生徒がオーケストラに興味を持ってもらえるよう変化に富んで楽しく華やかなプログラムを提供します。冒頭は誰もが知っているJ.ウィリアムズ：「スター・ウォーズ」の“メインタイトル”でスタートします。楽器紹介は当団オリジナルの「きらきら星変奏曲」になります。聴きなじんだメロディーに乗せて各楽器が順に演奏します。モーツァルト：ディヴェルティメントK.138より“第1楽章”では聴く機会の少ない弦楽器の合奏を聴いて頂きます。優雅で軽やかな音楽を楽しんで頂きます。チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”はオーボエのメロディーで有名な曲、バレエ音楽の魅力を味わってください。休憩後はまずデュカス：バレエ「ラ・ベリ」より“ファンファーレ”です。金管楽器を3方に配置し会場全体で迫力ある金管楽器の音を体感します（会場図添付）。マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲”では美しい音楽を聴きます。「ミッション・インポッシブル」でボディパーカッションでは変拍子をオーケストラの演奏に合わせたボディパーカッションで音楽を体感します。そして「交響曲を聴いて見よう！」ではベートーヴェン：交響曲第5番「運命」の第1楽章を聴いて頂きます。ベートーヴェンは日本では「楽聖」と呼ばれ作曲家の最高峰に位置付けられています。ここでは「ダダダダ」で知られている交響曲第5番「運命」第1楽章を聴いて頂きます。ベートーヴェンの偉大さを感じてみてください。そして「学校の歴史を語り、そして『ゼルダの伝説』へ」では児童、生徒が自らの学校の歴史を自らで作文を作り語ります。そして「ゼルダの伝説」メインテーマの演奏につなげてゆきます。そして最後に「校歌」を演奏（一緒に歌うことも可能）し終了します。					
演目選択理由	●楽器紹介：「きらきら星変奏曲」 楽器個々の特徴をお話で説明して聴いて頂きます。楽器の音の個性を感じてもらいます。 ●モーツァルト：ディヴェルティメントK.138より第1楽章 聴く機会の少ない弦楽器の合奏です。 ●デュカス：バレエ音楽「ラ・ベリ」より“ファンファーレ” 金管楽器ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバの合奏を聴き金管楽器の迫力あるサウンドを聴いてもらいます。 ●「ミッション・インポッシブル」でボディパーカッション 5/4拍子の変則的な拍子を手拍子で体験します。 ●「交響曲を聴いて見よう！」ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章 ベートーヴェンの偉大さを「ダダダダ」のシンブルな反復音楽の中で発見します。 ●「学校の歴史を語り、そして『ゼルダの伝説』へ」 児童生徒が自分の言葉で「学校」を題材に作文しこれを朗読、そして直後に「ゼルダの伝説」メインテーマを演奏し「学校」への愛着を深めてもらいます。 ●校歌 最後に校歌を演奏し演奏会を終えます。 ※その他の曲は別添参照					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●「ミッション・インポッシブル」ではボディパーカッションとして手拍子により変拍子の5/4拍子を体験します。5/4を3つと2つに会場内を2つに分け楽しんで頂きます。 ●「学校の歴史を語り、そして『ゼルダの伝説』へ」では、児童生徒の代表者に自らの学校を題材に作文を朗読してもらいます。 ●最後の「校歌」はオーケストラ伴奏で歌っていただくことが前提ですが、新型コロナウイルスの影響が不安の場合は聴いて頂くのみでも結構です。					
出演者	指揮者：高井優希【②別紙メンバー表】 高井氏は、今年37才、2019年、2020年に共演した実績から、オーケストラのアンサンブルをまとめる力があり楽団員からの評価もよく、子供たちに対しても明瞭な指示をはっきりとした声で行うなど、この事業に適しており今回選抜致しました。YouTube資料の指揮も高井氏です。 中部フィルハーモニー交響楽団【②別紙メンバー表】 (10型変則2管＝弦10/8/6/5/4 管打3.2.2.2-4.3.3.1 Tim+3 Hp					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 59 名 スタッ： 10 名 合 計： 69 名		機材等 運搬方法		積載量： 4t 2t 車 長： 4t 8.95m 2t 6.43m 台 数： 4t,2t 各1 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目 安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		1～1.5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～10時	13時30分～15時	10分	15時～16時30分	16時30分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		約500人(ソーシャルディスタンスを取って)			
	本公演		約1,000人(ソーシャルディスタンスを取って)			
ワークショップ 実施形態及び内容	楽団員6名以内でメンバーを構成します。 ●本公演で最初に演奏する「スター・ウォーズ」からスタートします。 ●参加メンバーが各楽器を丁寧に説明し、公演曲も演奏をしながら紹介します。 ●「ミッション・インポッシブル」でボディパーカッションを体験。 ●楽団員への質問コーナーで「オーケストラの事を何でも聞いてみよう」 ●本公演の曲をアンサンブルで聴いて見よう！					
ワークショップ 実施形態の意図	ワークショップ(WS)は本公演に向けての事前体験学習です。以下の点に留意して行います。 ●オーケストラの構造や演奏曲を事前に知ることによってコンサートへの期待度を高めます。 ●ボディパーカッションを事前体験し本番に備えます。 ●楽団員の質問コーナーを取り入れることで楽団員がより身近になりオーケストラへの興味を高めます。 ●小さいアンサンブルながらもWSで本公演の曲を聴くことでフルオーケストラで聴くことへの思いを高めます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特別支援学校の公演については、支援学校様の特性に合わせて個別に相談をし、特に共演部分を慎重に実施できればと思います。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団 】
演目選択理由	<演目選択理由追加分> ●J. ヴィリアムズ：「スター・ウォーズ」の“メインタイトル” 誰でも一度は聴いたことがある曲。最初からオーケストラとの距離が一気にせまくなります。 ●チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景” 楽器オーボエの旋律を聴き豪華なバレエの音楽を楽しんでもらいます。 ●マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より“間奏曲” オーケストラ音楽の美しさを極めた曲を体験します。  令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 10月20日 岐阜県美濃加茂市立山手小学校公演(ボディーパーカッションの様子)  令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 10月21日 岐阜県海津市立高須小学校公演	

中部フィルハーモニー交響楽団 出演者 (予定)

指揮 高井優希(※別紙メンバー表)

司会 奥村育子

★コンサートマスター ☆アシスタントコンサートマスター

◎トップ奏者 ○副トップ奏者

1stViolin (10 人)

★藤原 綾
★古井 麻美子
☆綾川 智子
片山 瑠央
加藤 絢子
加藤 和可子
森下 由貴
高木 咲也(客演)
森 有加(客演)
小川 亜希子(客演)

2ndViolin (8 人)

◎加藤 恵子
○長谷川 雪乃
清水 綾
清水 里佳子
原 沙登子
森 清泉
岡田 衣羅(客演)
家本 くらら(客演)

Viola (6 人)

◎石川 園恵
○葛西 麻弓子
加瀬 眞望子
祖父江 依子
中山 翔太
柿本 朱美(客演)

Cello (5 人)

◎河井 裕二
○原 悠一
鈴木 康史
外山 純子
山田 真吾(客演)

Contrabass (4 人)

◎望月 康宏
○早瀬 美紀
水谷 まい(客演)
谷脇 友里恵(客演)

Flute (3 人)

◎山村 歩
上田 花奈
岡本 卓也(客演)

Oboe (2 人)

◎新田 祐子
宮澤 香おり

Clarinet (2 人)

◎玉井 真紀子
織田 真里江

Fagott (2 人)

◎北川 陽子
岡野 公孝(客演)

Horn (4 人)

◎舟橋 知奈美
古川 愛
森 隆一郎
山下 奈緒美

Trumpet (3 人)

◎赤堀 裕之史
田中 誠剛
中家 亜里紗(客演)

Trombone (3 人)

◎菅 貴登
高田 和響(客演)
戸高 茂樹(客演)

Tuba (1 人)

井上 晃輔

Timpani&Percussion (4 人)

◎小川 研一郎
荻原 瑠惟(客演)
野々垣 行恵(客演)
弓立 翔哉(客演)

Harp (1 人)

神谷 知佐子(客演)

(以上59名・指揮者込み)



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

【No.2 別紙メンバー表】



©Masaaki Hiraga

指揮者 高井優希 — たかいゆうき — Yuki Takai

第4回黒海（コンスタンツァ）指揮コンクールにおいて第1位受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、ローマ・イタリア管弦楽団、コンスタンツァ国立歌劇場管弦楽団など、国内外のオーケストラと共演。

幼少よりピアノを学び、成蹊高等学校卒業後、東京藝術大学指揮科およびメンデルスゾーン音楽演劇大学（ライプツィヒ）指揮科卒業。東京二期会、藤原歌劇団、ニッセイオペラ、東京室内歌劇場、藤沢市民オペラなどの公演において副指揮者を務めた。NHK「LIFE！～人生に捧げるコント～」番組収録のための指揮指導、日本・バチカン市国国交樹立75周年記念事業での指揮なども行っている。

ウルリッヒ・ヴィントフル、田中良和の各氏に指揮を師事。また、ヨルマ・パヌラ、コリン・メッターズ、エルヴィン・アチェル、小林研一郎、佐藤功太郎、小田野宏之、松尾葉子の各氏の薫陶を受ける。

2019年度山田貞夫音楽賞特選。武蔵野音楽大学講師。元・セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。

所属事務所：コンサートイマジン http://www.concert.co.jp/artist/yuki_takai/

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I113	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	中部フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	4室	条件		指揮者1室 男女各1室とスタッフ用を着替えのためカーテン付きお願いします。女性用が大きめです。			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック1台	2tトラック1台	大型バス3台		不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック1台、2tトラック1台				不可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			出来れば階段のない1階であれば望ましいです。雨を避けたいので屋根がある経路が望ましいです。				可	
	理由			楽器が重量であることと、楽器が本来水分を嫌うため。					
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m		高さ	2m		不可	
WSIについて	参加可能人数		約500名					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	なし		なし		—	
	所要時間の目安 単位:分	45～50分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			約1000名				可	
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	10m	高さ	—	可	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態が望ましい				可
		緞帳 *	要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	日光が演奏者の目に入るのを避けるため			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に して御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項							応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

